

米軍機は子どもたちの空を飛ぶな！

海にも陸にも基地は造らせない！

辺野古新基地建設反対

1.28新宿デモ

1月28日(日)14:00~新宿アルタ前でアピール

デモ 集合14:45 出発15時

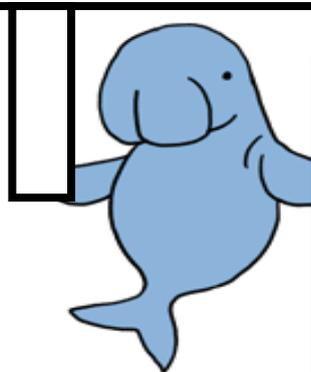
沖縄で米軍機の事故・トラブルが頻発しています。昨年12月7日には、宜野湾市の保育園の屋根に普天間基地所属の米軍ヘリCH53Eの部品が落下していることが分かりました。園庭では保育園児が遊んでいました。同月13日には同市普天間第二小学校グラウンドに同型機の窓枠が落下しました。いずれも大きな負傷者は出ませんでした。一歩間違えれば大惨事になるところでした。

それらの事故の記憶がまだ覚めやらない今月6日には同基地所属のUH1ヘリが伊計島の砂浜に不時着しました。住宅まで130mの距離です。島には昨年1月にも米軍ヘリが不時着しています。8日には読谷村の民有地にAH1攻撃ヘリが不時着しました。

こうした米軍機の事故・トラブルへの米軍、日本政府の対応は、住民の安全を全く無視したものです。部品が米軍のものだということは認めましたが、米軍機が落としたことを未だに認めていません。小学校への落下は、操縦していた兵士の人的ミスで済まされています。伊計島への不時着については、「計器に異常があり緊急着陸した」と説明があったそうです。

度重なる事故に対し、事故原因の究明と安全が確認されるまで米軍機の飛行を取りやめろという沖縄の人々の切実な訴えにも関わらず、米軍は「機体に異常は認められなかった」と早々に飛行を再開。住民の安全を優先すべき日本政府は、こうした米軍の説明を鵜呑みにし、何ら有効な対策を講じていません。一体どの国の政府なのでしょう？

更に許せないのは、「本土」から「自作自演だろう」「誰が日本を守っているんだ」という誹謗中傷が投げかけられていることです。沖縄への差別・偏見、無関心・無理解が背景にあります。



防衛省抗議・申し入れ行動

2月5日(月)午後6時半~
市ヶ谷・防衛省前
申し入れ書、プラカードなど
お持ち下さい
JR・地下鉄市ヶ谷駅徒歩8分

辺野古の海では、新基地建設のための護岸工事が進められサンゴ礁が群生する豊かな海を破壊しています。11月からは工事区域の南側のK1護岸とN5護岸工事が着手され、12月からは別の護岸工事も始まりました。また、そのための石材を陸上のキャンプシュワブゲートからだけでなく、近くの本部港から海上搬送もしています。

しかし、この工事は昨年3月に工事のための岩礁破碎許可が切れたまま、「漁業権が放棄されたので許可は不要」と勝手に解釈して進められている違法工事です。海上搬送も当初の計画書にはない、本来変更申請すべき運搬方法です。

防衛局・安倍政権の狙いは、既成事実を積み重ねて、「これではもう後戻りできない」と沖縄の人々を諦めさせることです。わけても、2月4日に行われる地元・名護市長選挙で、「海にも陸にも基地は造らせない」と頑張っている稲嶺市長を落選させることです。

こうした安倍政権の、手段を選ばない、民意無視の暴走に対し、沖縄の人々は、「決してあきらめない」粘り闘いを続けています。沖縄の米軍基地問題は沖縄だけの問題ではなく、「本土」の私たちに直接関係する問題です。国会でももっと問題にされなければなりません。「欠陥機」オスプレイは横田基地に飛来、「本土」の上空も飛んでいます。民主主義、地方自治が問われています。首都圏から声を上げていきましょう。

主催：辺野古への基地建設を許さない実行委員会

連絡先：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック TEL：090-3910-4140